

心理学・教育学委員会・情報学委員会合同教育データ利活用分科会（第24期・第1回）  
議事要旨

1. 日時：平成30年10月4日（木）16:00～18:00

2. 場所：日本学術会議5階 5-C(2)会議室

3. 出席者（敬称略，アイウエオ順）

緒方広明，楠見孝，柴山悦哉，谷口倫一郎，西田眞也，前田香織，  
松下佳代，美濃導彦

4. 配付資料

資料1：情報学，心理学・教育学合同教育データ利活用分科会の論点まとめ

資料2：国内外の動向

資料3：教育・学習関連データの現状 ー教育学関係ー

5. 議事

（1）委員の自己紹介

（2）委員長等の選出について

委員長に美濃委員，副委員長に楠見委員，幹事に緒方委員，谷口委員を選出した。

（3）分科会の趣旨説明

美濃委員長より資料1に基づき，本分科会設置の趣旨説明が行われた。

（4）教育・学習関連データの現状

教育・学習関連データの現状について，情報学関連分野の状況を資料2に基づき緒方幹事から，教育学・心理学分野の状況を資料3に基づき楠見副委員長，松下委員から説明があった。

（5）収集する教育データの例

資料1に基づき，緒方幹事から収集を検討する教育データについての説明がなされた。

（4），（5）の説明に関連して，以下のような点についての議論がなされた。

・議論をある程度絞り込む必要がある。例えば，共有する仕組みを作ることなど。

- ・初等中等教育におけるデータ（特にローデータに近いところ）の収集は難しい。初等中等教育へのアクセスをどうするかを検討する必要あり。

- ・教育データを共有することのメリットをはっきり打ち出すことが必要。評価につながるとう印象を持たれるとネガティブになる。

- ・教育機関ごと個別性と全体的な統一性をどう整合させるか。

（6）今後の予定

- 1月下旬から2月にかけて2回目の分科会を開催する。

- 3月22日に教育データの利活用に関するシンポジウムを京都大学で開催する。

以上